

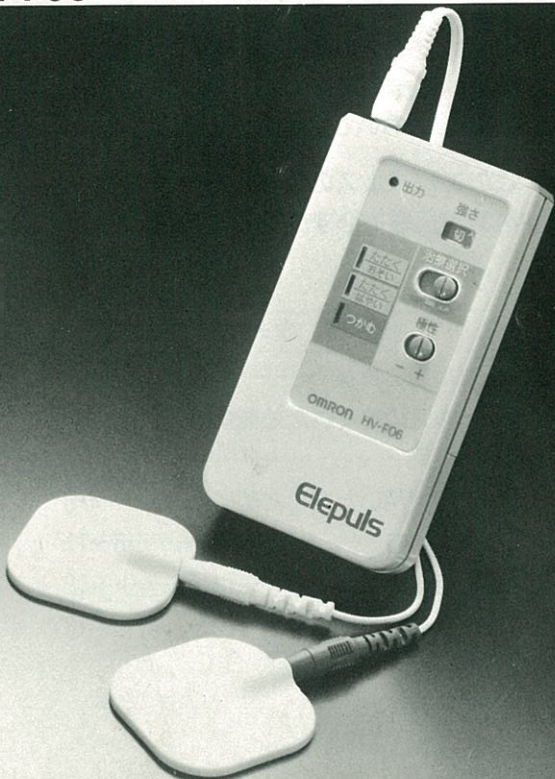
オムロン
低周波治療器

OMRON

承認番号63B390

エレパルス

HV-F06 取扱説明書 ●ご使用の前に、必ずお読みください。



このたびは、低周波治療器エレパルスHV-F06をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。そして、正しく末永くご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、お読みいただきました後も、保証書とともに大切に保存しておいてください。

このエレパルスの使用にあたっては
医師の指導を必ず受けてください。

目次

- エレパルスの特長1
- エレパルスのすぐれた効能効果1
- 各部の名称2・3
- 正しくご使用いただくために4・5
- 正しい使い方6~11
- 修理に出す前に12
- 低周波治療について13
- 品質保証書

エレパルスの特長

- マッサージや指圧に近い使用感が得られます。
- 連続刺激と断続刺激がスイッチひとつで切換えできます。
- 刺激を右⇄左へスイッチひとつで切換えできます。
- 軽量コンパクトですから旅行などにも手軽に持ってゆけます。
- 粘着パッド付導子により患部へ簡単に固定できます。

エレパルスのすぐれた効能効果

- 肩こり
- マッサージ効果：疲労回復、血行促進、筋肉痛、神経痛の痛み緩解
- 末梢神経麻痺

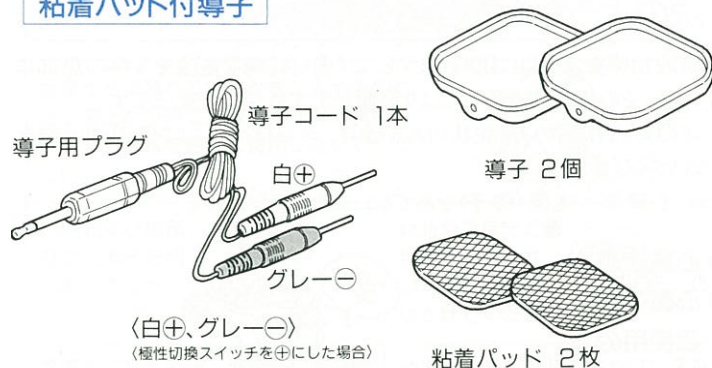


各部の名称

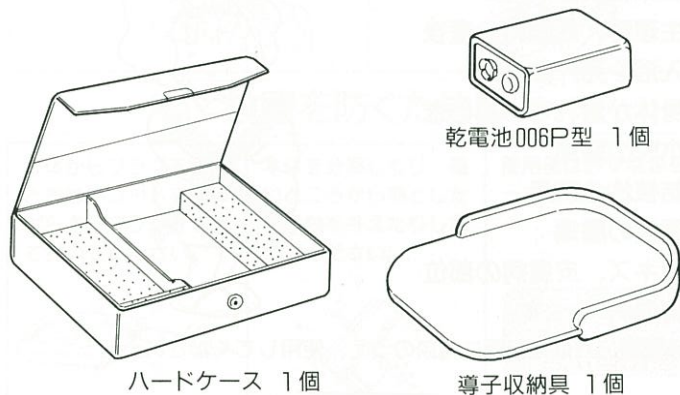
本体



粘着パッド付導子



付属品



正しくご使用いただくために

次のような場合はご使用をさけてください。

低周波治療を、ひと口に説明しますと、ごく弱い特殊な電流を人体の患部に軽く流し、その生理的な作用により治療をすすめる物理療法です。

下記のような疾病の方、症状のあるときは、エレパルスによる低周波治療をしないでください。

なお、心臓部へ電極(導子)をあてることはさけてください。

- 心臓疾患
- 心臓ペースメーカーをご使用の方
- 38℃以上の有熱性疾患
- 血圧の異常者
- 急性疾患
- 伝染性疾患
- 生理時、妊娠時、産後
- 入浴や発汗などで身体が濡れているとき
- 小児の頭部
- 結核性の病気
- 悪性の腫瘍
- 切キズ、皮膚病の部位
- 貧血病



※通院中の方は担当医に相談のうえ、使用してください。

ご使用上の注意

全身が水で濡れているとき、入浴中のとき、湯上がり時で全身をふかない状態のときは、本器を絶対に使用しないでください。



口中および陰部などに導子を用いないでください。



幼児やご自分で意志表示ができない方へのご使用はさけてください。



電源を入れたまま、治療部位を移動したり、他の人に導子をあてないでください。



時計の金属バンドやネックレスなど、金属性のものに導子を触れさせないでください。



故障を防ぐために

本体からプラグを抜くときは、コードを引っばらず、プラグをもって抜いてください。



本体を分解したり、高いところから落としたり振動を与えたりしないでください。



使用後は必ず電源を切ってください。

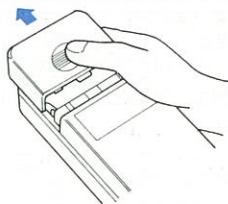


正しい使い方

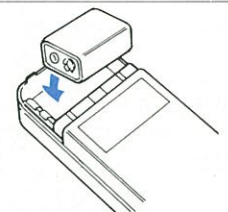
1. 乾電池の入れ方

図のように電池カバーを矢印の方向に軽く押して、カバーを開けてください。

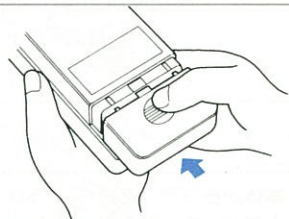
(本器の電池収納場所は本体の裏側です。使用乾電池は9Vの006P型1個です。)



＋、－の極性をまちがえないように電池を差し込んでください。



電池カバーをスライドさせながら、確実にしめてください。



※電池が消耗して、新しいものに交換される場合は9V・006P型の乾電池をお求めください。

2. 粘着パッドを導子に貼り、患部に固定します。

導子を導子コードに取り付けます。



袋から、粘着パッドを取り出し片側のフィルムをはがし導子の黒い面に貼付けます。



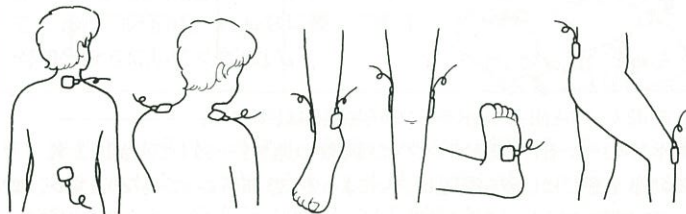
反対側のフィルムをはがします。これで粘着パッド付導子の準備は完了です。



本体電源を切って治療選択スイッチをたく(おそい)にセットしておきます。



患部に粘着パッド付導子を貼り固定します。

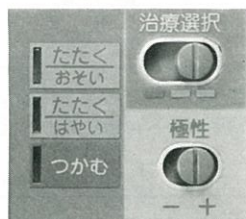


3. 治療を行ないます。

プラグを本体に接続します。
導子コードのプラグを本体の治療導子ジャックに差し込んでください。



治療選択を行ないます。
治療選択スイッチを操作して、好みの治療位置にあわせてください。
※治療の種類によっては刺激が強く感じることがありますので、治療の途中で治療選択スイッチを操作するときは、必ず一度強さ調整ダイヤルを1に戻してから行なってください。



電源を入れ、強さを調整します。
電源スイッチ兼強さ調整ダイヤルをまわして電源を入れ、ダイヤルをさらに徐々にまわして適度な刺激のところで止めます。

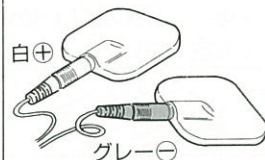
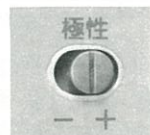


- ※電源が入ると出力表示ランプが点滅しはじめます。
- ※本体の赤い出力表示ランプは、刺激の速さと一致して点滅します。
- ※刺激を感じはじめる電圧は、人によって、患部によって異なりますが、強すぎる刺激は好ましくありません。

4. 刺激は左右に変えられます。

導子には⊕と⊖の極性があり、⊕側は興奮作用、⊖側は鎮静作用があります。
たとえば右肩に⊕側、左肩に⊖側の導子をあてた場合、導子を取りはずして⊕⊖をつけ替えることなく、極性切換スイッチで⊕から⊖へ、また⊖から⊕へと極性が転換できます。

※極性切換スイッチが⊕側にセットされている場合、導子コードと導子のつながりが白い方が⊕極、グレーの方が⊖極です。
切換スイッチを⊖に入れた場合は導子の⊕⊖極性は逆になります。



5. 1日に1~3回、1回に3~30分。

治療回数や時間は症状により異なりますが回数は1日3回までに、なれないうちは1回の治療時間は3分くらいに、なれてくると10分前後。どんなに長くても1回30分までにしてください。



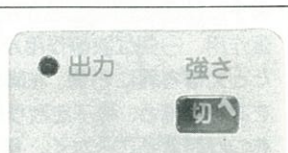
※治療効果には個人差があり、効果がなかなか顕著にならないことがあります。また人によっては導子をあてた皮膚の一部に軽い炎症をおこす場合があります。これらの場合は医師にご相談ください。

6. 治療が終わったら電源を切ります。

電源スイッチ兼強さ調整ダイヤルを「切」にします。

(注)

他の部位または別の人を治療する場合、電源を入れたまま、導子を移動して他の部位を治療したり、別の人に治療しないでください。その場合は必ずいったん電源を切って、8頁の正しい使い方<3>からはじめてください。



7. 導子の収納

粘着パッド付導子は、ご使用後からず、導子収納具にはって収納してください。

※粘着パッドが乾燥すると使えなくなります。

※粘着パッドは消耗品です。

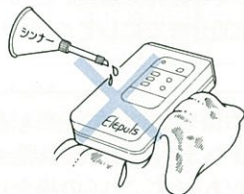
(つきにくくなった場合、新しいパッドと交換してください。)



8. 本体・導子の清掃

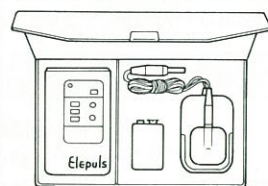
本体、治療導子などは、次回の使用に支障のないよう清潔にしておいてください。

※乾いたやわらかい布でよこれをふきとります。シンナーや、ベンジンなど揮発性の液体や、濡れた雑布などは使用しないでください。

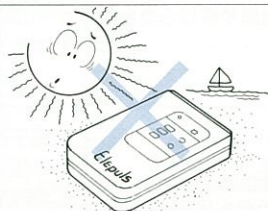


9. 保管

付属のハードケースに本体、導子を正しく保管してください。



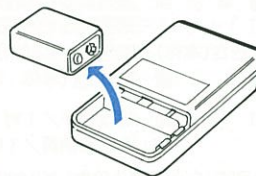
湿気や温度の高いところ、直射日光のあたるところ、塩分やイオン分などを含んだ空気のところに放置しないでください。



お子さまの手のとどかないところ、水のかからないところに保管してください。



長時間ご使用にならないときは、本体から乾電池をはずしておいてください。



修理に出す前に

不審な点、故障の場合は、内部機構をさわらずに、お買上げの販売店に遠慮なくご相談ください。なお、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、つぎの点をお確かめください。

症 状	チェックおよび対策
刺激が弱い 刺激が感じられない	1. 電池が消耗していませんか？ →新しいものに交換してください。 2. 電池が正しく接続されていますか？ →この説明書に従って接続しなおしてください。 3. プラグとジャックは正しく接続されていますか？ →接続しなおしてください。
肌が赤くなる チクチクと痛い	1. 導子は体にしっかり固定されていますか？ →固定しなおしてください。 2. 治療時間が長すぎませんか？ →1回10分前後におさえてください。

エレパルスの主な仕様

- 電 源 電 圧…直流9V (乾電池006P型1個使用)
- 発 振 周 波 数…約1.4~50Hz 3段切換
- 消 費 電 流…16mA (負荷抵抗1kΩ)
- 電 池 寿 命…連続通電で20時間以上 (つかむ、最大ノッチ、負荷抵抗1kΩ)
間歇通電で120日以上 (1日15分間使用)
- 大きさ(本体)…60(W)×110(H)×22.5(D)mm
- 重 量…約135g (本体：電池含む)
- 付 属 品…治療導子／1対、粘着パッド／1組、乾電池／006P型1個
導子収納具／1個、取扱説明書／1部・導子コード／1本

※別売パッド・4組入(8枚) ¥2,000

低周波治療について

生理作用をうまく利用する治療法

自分自身は気づきませんが、脳や心臓、筋肉や神経など、私たちの身体はいかなるところからもごく弱い電気を発生しています。そして、外部から加えられた電氣的な刺激にも敏感に反応しますし、いろいろ変化をおこす性質があります。人間の身体がもともと持っているこのような作用を上手に利用して、病気の治療を行なおうとするのが電子治療で、その中の代表的なひとつが低周波の治療法です。現代医学でも、こり・痛み・マヒなど、幅広い効果のあることが認められており、各地の病院や医院で数多くの患者さんに低周波治療が施されています。

リズムカルなやさしい刺激の低周波

低周波というのは、一定のリズムで流れたり切れたり断続する特殊な電流です。低周波を上手に利用すると、トン・トン・トンとたいへんリズムカルなやさしい刺激を与えてくれます。低周波のやさしい刺激は、押したり、もみほぐしたりするマッサージの効果があります。